

アジャストメント・インストラクション EA-NHB 近接スイッチホルダ ; NHB

- ☑ ハウジングとホルダ間を密閉
- ☑ ホルダ取り外し後も設定は維持

1 近接スイッチの機能

近接スイッチは、クランプヘッドの作動状態を報告する信号を機械制御ユニットに送信します。

- ・ 信号 1 :『クランプ状態』
 - ・ 信号 2 :『クランプ解除』
- ロッドの両軸方向へのストロークは、信号2の状態の時にのみ許可されます。例外: self-intensifying機能を持ったクランプヘッド(セーフティキャッチャー、セーフティブレーキ、セーフティロック)のリリースプロセス。

信号1と2は同時に発生しません。切り替え中の短いオーバーラップは許容されます。

2 近接スイッチの仕様

以下の特性を持つ非接触の誘導型近接スイッチ (NO) を使用して下さい。

ホルダ	近接スイッチ
NHB 12	外径ねじ M12 x 1、公称スイッチング距離:2mm、フラッシュマウント

3 ホルダNHBのデザイン

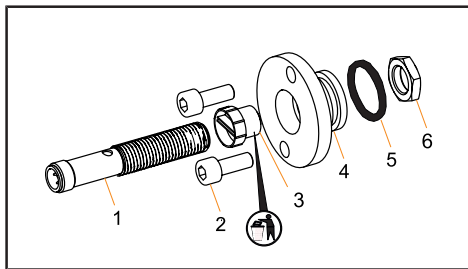


図1:ホルダNHBの構成

1	近接スイッチ(※含まれません/オプション)
2	取り付けねじ
3	スクリューキャップ(近接スイッチ取り付け後不要)
4	ブッシュ
5	Oリング
6	近接スイッチ固定用ロックナット

4 ホルダNHB(納品時)

納品時クランプヘッドにはホルダNHBが取り付けられています。

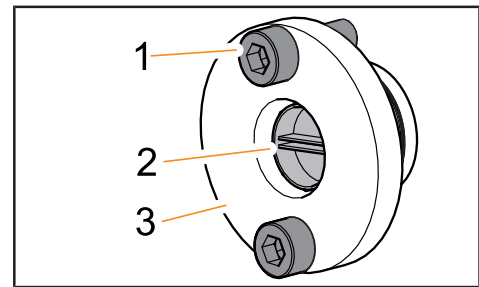


図2:納品時のホルダNHB

1	取り付けねじ
2	スクリューキャップ
3	ブッシュ

5 近接スイッチの取り付け

⚠ CAUTION

クランプヘッド内部の可動部品による怪我の危険!

指や手を負傷する可能性があります。

- ☞ 開口部から内部に手を入れないでください。

Tip

- ☞ 設置場所が塵埃が舞う環境であったり、湿気が多い環境の場合は、近接スイッチのねじ山をシーリング液でシールしてください(例:LOCTITE 2701)

5.1 セーフティキャッチャーのみ:近接スイッチの取付と調整

NOTICE

セーフティキャッチャー:近接スイッチの破損、クランプシステムが損傷します!

セーフティキャッチャーのポート2近接スイッチが深く挿入されすぎると、作動時に近接スイッチの破損が起こり、クランプシステムが損傷する可能性があります。

- ➡ 両方の近接スイッチの深さをポート1で調整する。ポート1では、近接スイッチが破損する危険性はありません。

セーフティキャッチャーの近接スイッチを取り付けるには:

1. セーフティキャッチャーが『Load secured』状態になっている事を確認する(セーフティキャッチャーの取扱説明書を参照)。
2. ポート1にて両方の近接スイッチの深さ設定を行う。5.2「近接スイッチの調整と取り付け」の手順2~5を参照してください[▶2]。
3. 近接スイッチをポート1、ポート2に取り付けます。5.2「近接スイッチの調整と取り付け」の手順6~10を参照してください[▶2]。

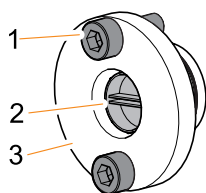
5.2 近接スイッチの取付と調整

NOTICE

近接スイッチを深く挿入しすぎると破損の可能性があります。

近接スイッチが深く挿入されすぎると、クランプシステムが損傷し、誤作動を引き起こす可能性があります。

- ➡ 対応する近接スイッチを取り付ける前に、クランプヘッドを正しい作動状態に動かして下さい。



- 1 取り付けねじ
- 2 スクリューキャップ
- 3 ブッシュ

図3:ホルダHNBが取り付けられている状態

ポート1に近接スイッチを取り付ける前に:

- ▶ ロッドが挿入されているクランプヘッドを『クランプ状態』に切り替えて下さい。

ポート2に近接スイッチを取り付ける前に:

- ▶ ロッドが挿入されているクランプヘッドを『クランプ解除』に切り替えて下さい(クランプヘッドの取扱説明書を参照)

近接スイッチをホルダに取り付ける順序:

1. 調整を行うポートについて:
クランプヘッドが正しい動作状態にあることを確認して下さい。
2. スクリューキャップと取り付けねじを取り外します。この時、及び、下記3~6までの間ブッシュの位置を変えない様に注意して下さい。
3. シーリングが必要な場合:近接スイッチのネジ山部にシーリング液を塗布して下さい。
4. 近接スイッチを慎重にブッシュに挿入して下さい(クランプヘッド内部のパーツに当たるまで)。
5. 近接スイッチを慎重に約1/2~1回転戻します(逆回転させる)。
6. ブッシュをクランプヘッドから慎重に引き抜きます。この時近接スイッチを回さないで下さい。
7. 近接スイッチ固定用ロックナットで近接スイッチを固定して下さい。
8. ブッシュをクランプヘッドに挿入して下さい。
9. ブッシュを取り付けねじで固定します。
10. 近接スイッチの電気配線を行ってください。

6 機能テスト

クランプヘッドの取扱説明書に記載されている通りに性能テストを実施して下さい。

- ▶ クランプヘッドが作動した時に信号が正しく切り替わるかどうかを確認します。
信号1と2は同時に発生しません。切り替え中の短いオーバーラップは許容されます。

近接スイッチが設定および取り付け後に正しく切り替わらない場合は、SITEMAまたは販売代理店にお問い合わせください。